

令和8年度農村 RMO 中央研修会（応用コース）カリキュラムの概要

■カリキュラム構成

- ・ 農村 RMO 形成推進事業が創設5年目を迎え、初年度実施地区と3年間の事業期間を終えた地区では取組の熟度や必要な情報が異なることから、地区の活動段階（熟度）に応じた研修内容とし、必要なスキルを学べる場とします。
- ・ コースは選択制とし、自地域の取組状況に応じて選択可能とします。
- ・ カリキュラムの具体的な内容は次頁以降をご参照ください。

	基本コース（9月開催）	応用コース（12月開催）
対象者 （想定）	● 農村 RMO モデル形成支援実施1年目から2年目の地区の構成員 ● 今後農村 RMO 形成に取り組もうとしている地域の関係者 ● 本年度初めて農村 RMO 担当になった行政職員等	● 農村 RMO モデル形成支援実施3年目及び3年間の実施期間を終えた地区の構成員 ● 農村 RMO 中央研修会に過去参加した方 ● 伴走支援に取り組んでいる中間支援組織等
内容	① 農村 RMO 形成の基礎を学ぶ ② 立上期～形成期にかけてつまずくポイントについて解法を学ぶ ③ 自地域の現状を可視化して把握する	① 自主財源・運営資金確保に向けた事業多角化の事例を学ぶ ② 伴走支援の効果的な仕組み方を学ぶ
ねらい	● 農村 RMO 形成の考え方を知り、形成のステップを具体的に理解する ● 自地域の現状を把握し将来ビジョンを描く	● 多様な地域特性に対応可能な支援の在り方を理解する ● 収益事業化や人材活用等、次世代への承継を見据えた仕組みを知る

■カリキュラム内容

【研修①】 講義 60分 <全員参加>

講義：「ドイツのリージョナル・マネージメントから学ぶ持続可能な地域づくり」

講師：農林水産政策研究所 上席主任研究官 飯田 恭子 氏

【研修②】 講義 70分 <選択制>

講義：以下の第1～3分科会の中から選択して受講いただきます。

申込みフォームに、希望する分科会を第2希望までご記入ください。各分科会の定員を超えた場合は、事務局にて調整させていただきますので、予めご了承ください。

応用コース 第1分科会	農村集落は撤退か、むらおさめか、むらつなぎか 講師：地域活性化センター シニアフェロー 斉藤 俊幸 氏 ・ 人口減少や高齢化が進む農村集落を、これからどのように維持し、つないでいくのか。「撤退」「むらおさめ」「むらつなぎ」など、集落政策をめぐるさまざまな考え方を学び、自分たちの集落の将来を考えます。 ・ また、集落の自立と存続に向けて、地域ビジネスによる収益確保や、若い人材を生かした事業づくり、融資・支援制度の活用について考えます。地域の資源を生かした複数の収益事業をどのように育て、農村 RMO の持続的な運営につなげるかを探ります。
応用コース 第2分科会	地域の主体性を引き出し、自走につなげる伴走支援を考える 講師：有限責任事業組合まちの人事企画室 川淵 一清 氏 ・ 農村 RMO の形成・運営において重要となる「伴走支援」について、地域と支援者の望ましい関係性や、支援者に求められる役割を考えます。 ・ 地域の主体性を尊重しながら、地域が自ら課題を捉え、考え、動き、学び続ける状態をどのようにつくるのかを、具体的な事例やケースを通じて学びます。 ・ 特に「聴く・問う・整理する・つなぐ・任せる」という5つの視点から、行政・中間支援組織等が現場で実践できる伴走支援のポイントを整理します。 ※行政・中間支援組織の方を対象とした講座ですが、どなたでもご参加いただけます。

応用コース 第3分科会	外部人材との協働とファンコミュニティの運営による資金の確保 講師：NPO 法人みんなの集落研究所 理事・上級研究員 水柿 大地 氏 ・ 人口減少が進む農村地域で活動を継続していくためには地域内の人材や資源だけでなく、地域外の人との関係を育て、ともに活動をつくる視点が重要です。 ・ 美作市上山地区での実践をもとに、外部人材との協働や、地域のファン・関係人口が継続的に関わる仕組み、活動を支える資金を生み出すコミュニティ運営について考えます。
------------------------	--

【研修③】 講義 70分 <選択制>

講義：以下の第4～6分科会の中から選択して受講いただきます。

申込みフォームに、希望する分科会を第2希望までご記入ください。各分科会の定員を超えた場合は、事務局にて調整させていただきますので、予めご了承ください。

応用コース 第4分科会	人口減少時代の飛騨市の挑戦！ 住民と関係人口で目指す持続可能なまちづくり 講師：岐阜県飛騨市 総合政策課 上田 昌子 氏
	・ 人口減少下で持続可能なまちづくりの推進するために、「関係人口」に着目した飛騨市の取組みを紹介します。 ・ 事例紹介を踏まえ、参加者同士で意見交換をしたり、「関係人口」創出について一緒に考えます。
応用コース 第5分科会	デジタル活用による地域運営 講師：NPO 法人かしもむら 事務員 小島 未来 氏 株式会社 J-WAVE i 自治体ソリューション事業部門 チーフマネージャー 水野 啓太 氏
	・ IT（デジタル）を活用した地域情報の発信・共有を通じて、地域の一体感や安心感を育む取り組みを紹介します。 ・ 住民との合意形成を重ねながら進めてきたデジタル活用の実践事例と、その仕組みについてお伝えします。 ・ 地域の実情に応じたデジタル活用の可能性について考えます。
応用コース 第6分科会	「関わる人の輪が広がらない」と悩んだら ～誰かの手段になることのススメ～ 講師：NPO 法人おっちラボ 地域共創コーディネーター 小俣 健三郎 氏
	・ 組織の人材確保のためにも、その前提となる日々の多様な人との関わりについて、考えたいと思います。 ・ もっと多くの地域の人達に関わってほしいと思ったとき、「来てください」から「こちらから関わらせてもらおう」へと考え方を変えることが有効かもしれません。自組織の目的をいったん横に置き、相手の営みから自組織を見てみることを提案します。 ・ 多様な人が関わるようになった雲南市のいくつかの地域運営組織の事例を紹介します。

【研修④】 交流会 40 分 <全員参加>

- ・ポスターセッション交流タイム、名刺交換会
- ・関連施策紹介等

- ・参加地区の活動内容をポスターとして会場に展示します。また、活動内容や地域を紹介する資料やチラシ、特産品などご自由に展示していただき、参加者同士が交流していただきます。
- ・農村 RMO の活動に係る各府省（内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、環境省及び農林水産省）の関連施策について紹介します。

【研修⑤】 ワークショップ 290 分 <全員参加>

地域で自走していくための手の打ち所を対話から見いだす

講師：特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

理事・事務局長 斎藤 主税 氏

- ・農村 RMO が自走していくにあたっては、さまざまな問題・課題に直面しますが、これを解決しようとする際、闇雲に解決策を考えるのではなく、「真に手を打つべきポイントは何か」の特定こそが重要です。
- ・参加者同士での対話を通じて全国各地の経験・実践知を共有し、今後の活動に活かせるヒントが得られるワークショップです。

<全体留意事項>

- ※ スケジュールの詳細はカリキュラムをご参照ください。
- ※ カリキュラムの時間及び内容は変更になる場合がありますのでご了承ください。

令和8年度 農村RMO中央研修会(応用コース) カリキュラム

日 時:令和8年12月7日(月)～8日(火)

場 所:TKP新橋カンファレンスセンター

【1日目】 12月7日 (月)	開 場	12:00	13:00	13:10	14:10	14:25	15:35	15:50	17:00	17:20	18:10	
		開会式	研修① ＜講義・全員参加＞		休憩 移動	研修② ＜講義・選択制＞		休憩	研修③ ＜講義・選択制＞		休憩 移動 ポスターセッション準備	研修④ ＜交流会・全員参加＞
		オリエンテーション・開会式・セッション	ドイツのリージョナル・マネージメントから学ぶ持続可能な地域づくり	応用コース①		農村集落は撤退か、むらおさめか、むらつなぎか 地域活性化センター シニアフェロー 齊藤 俊幸 氏	応用コース④		人口減少時代の飛騨市の挑戦！住民と関係人口で目指す持続可能なまちづくり 岐阜県飛騨市 総合政策課 上田 昌子 氏	研修④		
				応用コース②		地域の主体性を引き出し、自走につなげる伴走支援を考える 有限責任事業組合まちの人事企画室 川淵 一清 氏	応用コース⑤		デジタル活用による地域運営 NPO法人かしもむら 事務員 小島 未来 氏 株式会社J-WAVEi 自治体ソリューション事業部門 チーフマネージャー 水野 啓太 氏	研修④		
				応用コース③		外部人材との協働とファンコミュニティの運営による資金の確保 NPO法人みんなの集落研究所 理事・上級研究員 水柿 大地 氏	応用コース⑥		「関わる人の輪が広がらない」と悩んだら～誰かの手段になることのススメ～ NPO法人おっちらボ 地域共創コーディネーター 小俣 健三郎 氏	研修④		
		10分	60分	15分	70分	15分	70分	20分	50分			
		事務局	講師：NPO法人おっちらボ 地域共創コーディネーター 小俣 健三郎 氏 NPO法人かしもむら 事務員 小島 未来 氏／株式会社J-WAVEi 自治体ソリューション事業部門 チーフマネージャー 水野 啓太 氏 岐阜県飛騨市 総合政策課 上田 昌子 氏 地域活性化センター シニアフェロー 齊藤 俊幸 氏 農林水産政策研究所 上席主任研究官 飯田 恭子 氏 有限責任事業組合まちの人事企画室 川淵 一清 氏 NPO法人みんなの集落研究所 理事・上級研究員 水柿 大地 氏									
		※法人格を除いてあいうえお順に記載										
		関係府省等										

		8:30	9:00	10:25	10:40	12:00	13:00	14:50	15:00		
【2日目】 12月8日 (火)	開 場	研修⑤ ＜ワークショップ・全員参加＞			休憩	研修⑤ ＜ワークショップ・全員参加＞		研修⑤ ＜ワークショップ・全員参加＞		閉会式	
		地域で自走していくための手の打ち所を 対話から見いだす				地域で自走していくための手の打ち所を 対話から見いだす		地域で自走していくための手の打ち所を 対話から見いだす		閉 会 式	
		85分			15分	80分		60分	110分		10分
		講師:特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター 理事・事務局長 斎藤 主税 氏									事務局

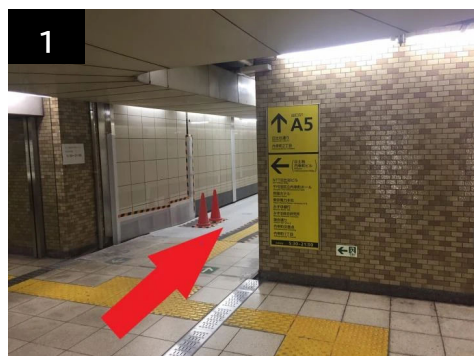
※カリキュラムの時間及び内容は変更になる場合がございますのでご了承下さい



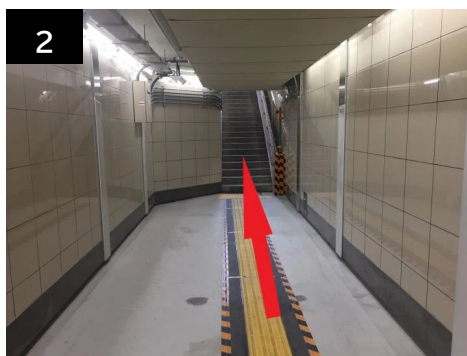
◆ **住所** 〒100-0011
東京都千代田区内幸町1丁目3-1
幸ビルディング 10-16階

- ◆ **アクセス**
- 都営三田線 内幸町 A5出口 徒歩1分
 - JR線 新橋駅 日比谷口 徒歩7分
 - 東京メトロ銀座線 新橋駅 7番出口 徒歩7分
 - 都営浅草線 新橋駅 7番出口 徒歩7分
 - 東京メトロ 霞ヶ関駅 C4 徒歩8分

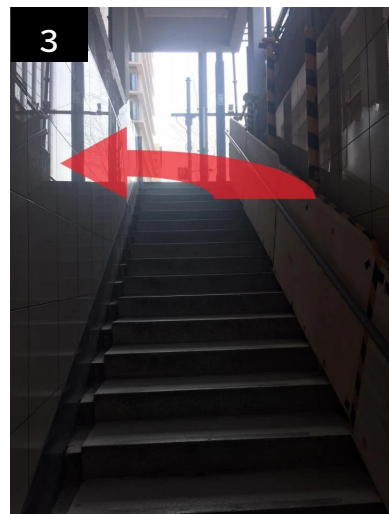
◆ 都営三田線 内幸町駅(A5出口)からの経路



改札を出ましたらA5出口方面へお進みください



A5出口へ真っ直ぐお進みください



地上に出ましたら、左にお進みください。進んで正面のビルが会場です。正面よりお入りください(奥にTKPの看板があります。)